なぜ、沖縄にはソメイヨシノが咲かないのか？

浦添市立浦城小学校
6年　福原　那菜　4年　福原　愛未

1．目的、動機

（1）目的

ソメイヨシノがなぜ沖縄に咲かないのかを明らかにしていく。

（2）動機

テレビのニュースで桜の開花ニュースが流れ、ソメイヨシノの花びらがひらひらと散る場面を見てとてもきれいだなと感動した。しかし、沖縄のカンヒザクラは、ソメイヨシノのように、花びらがひらひらと散ったりしないので、なぜ、沖縄にはソメイヨシノが咲かないのか、疑問に思い調べようと思った。

2．方法、内容

（1）８月 28 日、沖縄県那覇市樋川にある沖縄気象台に行き、桜の開花状況のデータを頂いた。データによると、桜の開花状況は、北海道から沖縄までのあらかじめ決められた桜の木、標本木を基に観測されており、北海道札幌市から鹿児島県種子島まではソメイヨシノ、沖縄県ではカンヒザクラを標本木としていることがわかった。

（2）９月 12 日、インターネットの情報から、琉球大学構内にソメイヨシノの木があることがわかり調査に行ったが、木はすでに伐採されており存在もしていなかった。そこで、琉球大学風樹館の佐々木先生に確認したところ、ソメイヨシノの木は沖縄にはないかも　しれないが、風樹館の前にオオシマザクラがあると教えてくれた。

オオシマザクラは白い花弁で、９月から 10 月に一度花を咲かせ、３月にもう一度花を咲かせる不思議な桜であること。オオシマザクラの他にも、久米島で育てられてきた品種クメノザクラが沖縄で咲くことが分かった。

（3）９月 26 日、カンヒザクラの標本木が末吉公園や与儀公園にあるとの情報から、もしかするとソメイヨシノの木があるかもしれないと思い調査したが、残念ながら見つけることができなかった。

（4）10 月 17 日、沖縄の桜の名所である名護城公園には、二万本余りのカンヒザクラが植えられているという情報から、名護城公園を調査することにした。公園管理をしているＭさんによると、ソメイヨシノが咲いたという話しは聞いたことがないが、Ｋゾーンにソメイヨシノが植えられているかもしてないとの情報から、現場に行き調査したが、実際にはカンヒザクラであった。

次に、同公園内にある名護青少年の家を訪れ職員にインタビューすると、ソメイヨシノが咲いたという情報なはいが、数年前に研究のためＳさんが植えたソメイヨシノがあるかもしれないとの情報から、おおよその場所を教えてもらい確認に行った。すると同公園内の頂上付近、東屋の向かいの芝生（図１）に研究中と書かれたソメイヨシノの木を発見した。高さ 77 ㎝、５枚の葉をつけた幼木のソメイヨシノだった。

11 月３日、再び訪れた際には葉は散っており、枝だけしか残っていない状態であった。

それを見てとても悲しい気持ちになったが、来年にはまた元気な葉をつけてほしいと思った。今回は、ソメイヨシノを植えたＳさんに、直接インタビューが出来なかったため、次の機会にぜひ会って話しを聞いてみたいと思う。

（５）さくら百科によると、ソメイヨシノの開花日気温と低温日日数を表した図（図２）から 11℃から 15℃までの気温が 60 日間続かないと開花出来ない。低温期間を経て春にかけて暖かくなると休眠打破（休眠解除）が起こり開花する。

（名護城公園管理Mさんへのインタビュー風景）

（ソメイヨシノ計測中の様子）

３．結果

（１）ソメイヨシノは北海道札幌市から鹿児島県種子島までの地域で咲く。

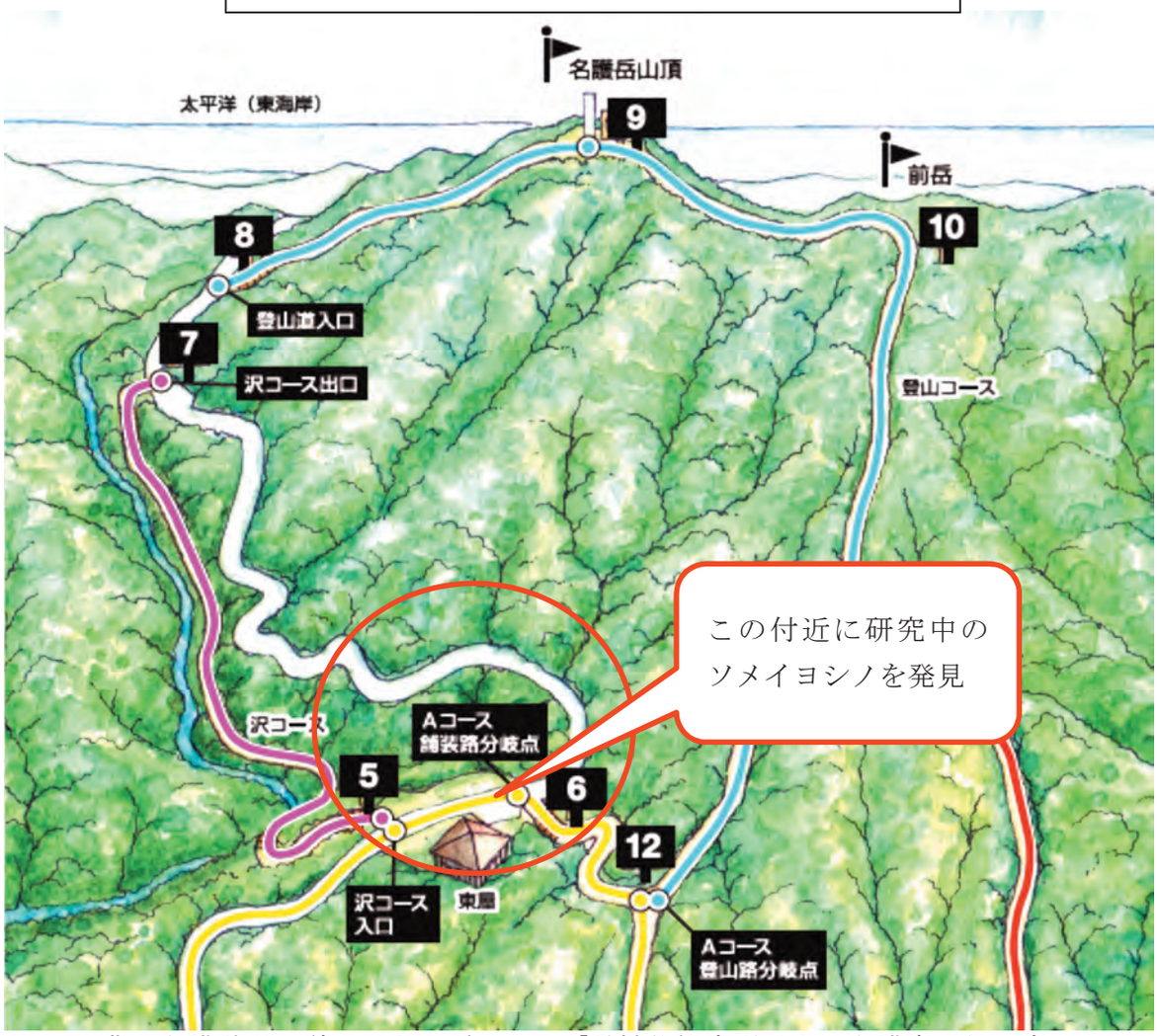
（２）沖縄ではソメイヨシノは開花せず、カンヒザクラやオオシマザクラ、クメノザクラなどの桜が咲く。

（３）名護城公園内に研究中の小さなソメイヨシノがある。

（４）ソメイヨシノは、11 ℃から 15℃までの気温（低温状態）が 60 日間続かないと開花しない。低温期間を経て春にかけて暖かくなると休眠打破（休眠解除）が起こり開花する。60 日間の低温日日数がソメイヨシノの開花に必要であるがだと分かった。

（平成 22 年５月に植えられた研究中のソメイヨシノ　名護城公園）

図１　研究中のソメイヨシノが植えられている場所



出典：名護岳登山道ハイキングコース「動植物観察ガイド」名護青少年の家
Web　http://www.opnyc.jp/

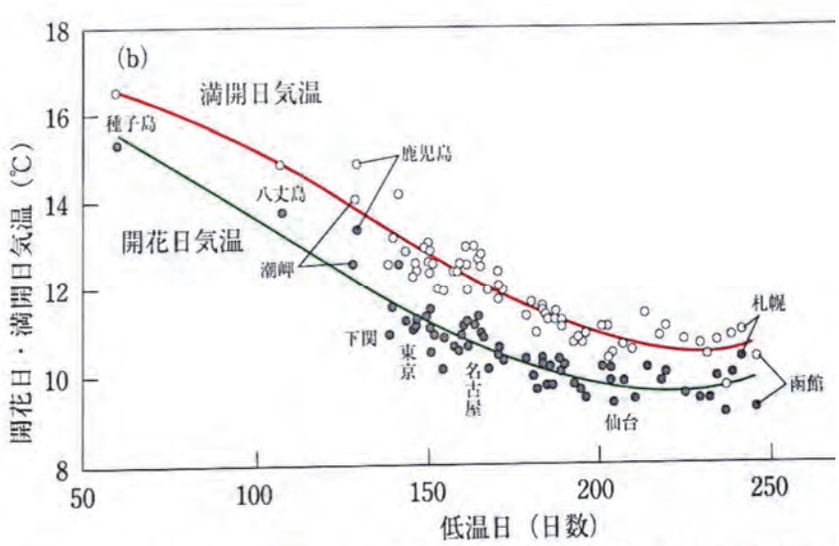


図２　ソメイヨシノにおける低温日日数と開花日気温

４．考察

（１）風樹館の佐々木先生や、気象台の方に聞いた時は、沖縄にはソメイヨシノはないかもしれ

ないと言われたが、諦めずに探した結果、研究中ではあるが沖縄県内にもソメイヨシノがあることがわかった。しかし、専門家や桜に詳しい方への聞き取り調査、文献等で調べた結果、沖縄でソメイヨシノが咲いたという情報は得られなかった。

（２）文献等によると、ソメイヨシノは、11℃から 15℃までの低温状態が 60 日間続かないと開花しないことがわかった。沖縄では、真冬でも平均気温が 15℃以下になることがないため、ソメイヨシノが開花するには適さないということがわかった。逆に言うと、沖縄であっても、気温 11℃から 15℃以下の条件で、60 日間育てればソメイヨシノは開花する可能性があることもわかった。そのためには、実験用の大型冷蔵庫、高い山や建物が必要になってくるので簡単にはいかないことがわかった。

５．感想

（１）ソメイヨシノをようやく発見できた時は興奮しとても嬉しかった。

ソメイヨシノを研究している方にインタビュー出来なかったのは残念だったが、しかし、今回の研究をとおし、初めて行く公園や森の中を探索できたことや、いろいろな方にインタビュー出来たことは、とても勉強になり、自信にもつながったため、とても良かったと思う。

沖縄には、カンヒザクラ以外にも別の種類の桜があったので、次回は、沖縄に咲く桜について調べてみたい。

＜引用参考文献＞

１．気象庁ホームページ　2015 年の桜の開花状況、沖縄の平均気温と降水量

２．名護岳登山道ハイキングコース「動植物観察ガイド」名護青少年の家 Web　http://www.opnyc.jp/

３．「さくら百科」　永田洋・浅田信行・石川晶生・中村輝子編　丸善出版 平成 22 年 1 月 25 日発行

＜インタビュー協力＞

１．沖縄気象台職員の皆様

２．名護城公園管理事務所Ｍさん

３．沖縄県立名護青少年の家職員の皆様、Ｓさん

４．琉球大学風樹館の佐々木先生

５．末吉公園内　森の家みんみん職員の方